

輸出事業計画

※申請者名：日本丸天醤油株式会社 品目：醤油・醤油加工品

1. 輸出における現状と課題

- ・さしみ醤油・1ℓの濃口醤油をメインの輸出商品としているが、つゆ類の輸出も増加傾向
- ・15年以上前から北米向けに輸出をしているが、現在は現地進出した日本メーカーにシェアを奪われ、輸出量は激減している。一方で、近年は中国向け輸出が大半を占める
- ・中国向け輸出の拡大により、生産能力向上・倉庫容量ひっ迫が課題となっており、需要期には外部への一時預かり依頼をしていることで、コスト高の要因となっている
- ・現在の輸出品目は小売用が中心であるが、OEM受託も実現しており、今後は業務用も拡大していく意向

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出拡大に向けた生産能力の向上及び衛生管理の強化を目的とした、JFS-C、FSSC22000認証取得を目指した醤油製造工場の新設
- ・今後の生産量増加に備えた倉庫の新設、自動管理設備の導入、社内向け管理ソフトウェアの更新
- ・商流構築に向けた、海外での展示会へのスタッフ派遣・出展、現地フェア販売・試食会
- ・JETROからの情報共有（栄養成分表示・規制関連）、オンライン商談会への参加

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- P：大ロット輸出の実現に向けた生産効率化のハード面での設備投資計画策定、商社と特約した輸出の推進
- D：設備投資計画に基づき中長期での生産規模拡大、コンテナ単位での大ロット輸出
- C：販売面では商社との特約を達成できるように定期的にチェックをしていく。設備投資面では借入先金融機関への運用状況報告
- A：輸出の進捗状況に応じてJETRO等からアドバイスを受け、新規輸出先国の拡大

4. 輸出目標額

	【現状】 (2020年度)	【目標】 (2030年度)
輸出額	1.3億円	3億円
輸出力 (t)	618	1,200
主な輸出先	中国・北米・台湾	中国・北米・台湾・東南アジア（タイ・インドネシア）等

- ・目標額の内訳は、商品別で濃口醤油60%、醤油加工品（つゆ類）40%
- ・中国・台湾の他、市場拡大が見込めるタイ・インドネシアへの輸出拡大を目指す